徳島県

徳島県　水産職

Tokushima
20:22
5G 100%
水産
電気
機械
総合土木
農業
林業
薬剤師
管理栄養士
心理
化学
司書
診療放射線
学校事務
警察事務
獣医師
児童福祉
水産
スイサン
https://www.pref.tokushima.lg.jp/saiyou/
水産技術の普及指導、養殖技術の指導、水産資源の増殖・管理、水産物流通対策、生産基盤の整備など水産業の振興に係る業務のほか、先端技術や生産現場に直結する技術の試験研究等の業務に従事。

水産振興課

漁業者に寄り添いながら、徳島県の水産業振興を図る

水産振興課では、種苗放流をはじめとする栽培漁業や資源管理型漁業の推進、漁業就業支援、県産水産物の販路開拓・消費拡大など、徳島県の水産業振興を図るための業務を行っています。
特に近年では、新型コロナウイルス感染症拡大の影響等により、県産水産物の需要減退や価格下落が起こっています。現在は、このような苦境に立たされている漁業関係者を支援するため、様々な事業を立ち上げて展開しています。日々刻々と変化していく環境に対応し、漁業者に寄り添いながら職員同士が協力し、業務に取り組んでいます。

▼採水調査

川上　萌 / Kawakami Moe

水産振興課　主事
令和２年度入庁

［所属歴］
●令和２年度：水産振興課

INTERVIEW 01

産地から消費者へ届くまでの水産物の流通過程に深く関与できることに、やりがいを感じられる

現在は、徳島県産水産物をＰＲし、消費拡大を促すキャンペーンの企画立案、ＥＵへ輸出される水産物の養殖場の監視、水産庁から依頼される調査の対応等を担当しています。
私は県内の海に近い地域で生まれ、海の恩恵を受けて育ちましたが、地元の海や漁業のことを知る機会があまりありませんでした。しかしながら、現在は、日々漁業者や市場関係者の方々と共に事業を進めることで、本県の水産業についての知識を深めるとともに、産地から消費者へ届くまでの水産物の流通過程に自分が深く関与できていることを強く実感し、やりがいを感じています。

朝田　健斗 / Asada Kento

農林水産総合技術支援センター水産研究課　主任研究員
平成27年度入庁

［所属歴］
●平成27年度：農林水産基盤整備局農山漁村振興課
●平成28年度：海区漁業調整委員会事務局
●令和元年度：農林水産総合技術支援センター水産研究課

INTERVIEW 02

漁業者の方々と密に連携しつつ良い結果が出たときは、充実感を得られる

私の現在の主な仕事は、藻類養殖における施肥技術の開発です。
本県沿岸に面する瀬戸内海ではノリやワカメの養殖が盛んですが、近年は「色落ち」という現象の頻発により打撃を受けています。藻類は海中の栄養塩を取り込み生長していますが、必要以上の環境規制により栄養塩に乏しい海へと変わってしまったのが原因です。そのため、栄養塩を人工的に供給する施肥技術を開発し、解決の一助となることを目指しています。
自然と向き合う研究のため根気がいりますし、悪天候が続いてスケジュール通りにいかないことも多々あります。しかし、漁業者の方々と密に連携しつつ良い結果が出たときは、非常にやりがいを感じます。

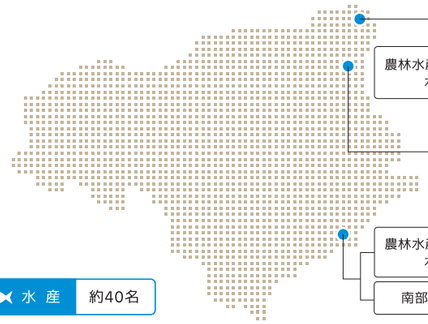
研究開発だけでなく、水産イベントも開催

水産研究課では、主に県の漁業振興のための研究を行っています。県内２箇所にある庁舎のうち、私が勤務している県北の鳴門庁舎では、魚介類の害となるプランクトンのモニタリング、ノリ・ワカメといった藻類の養殖技術の研究、河川におけるアユ等の内水面資源調査などに取り組んでいます。また、研究開発だけでなく、県水産物の認知や消費の向上を目指してタッチングプールや料理教室といったイベントを開催することもあります。
どの研究を担当しても野外での調査や実験は必要不可欠であり、船に乗るのは日常茶飯事で、水産職ならではの魅力の一つです。また、漁業者の方々と直接関わる機会も多く、ともに切磋琢磨しながら日々業務にあたっています。

▲ タッチングプールで魚とのふれあいを楽しむ子どもたち

農林水産総合技術支援センター水産研究課（鳴門）

主な配属庁舎



水　産　約40名

▼藻場調査

農林水産総合技術支援センター水産研究課（美波）

研究開発だけでなく、人材育成にも取り組む

水産研究課美波庁舎では、徳島県の漁業振興のために、漁業調査船「とくしま」による海洋観測・水産資源調査、魚介類の病気の診断・治療指導・予防に関する研究、県南海域を中心とした藻場造成・藻類養殖、磯根資源の増養殖技術開発など様々な業務に長年取り組んでいます。近年では、６次産業化を支援するための水産食品の成分分析や細菌検査、漁業者の効率的な操業を支援するための漁海況情報の迅速な発信も行っています。
また、大学等の高等教育機関との連携に加え、とくしま漁業アカデミーの講義や実習を通じて、研究開発だけでなく人材育成にも取り組んでいます。

多田　篤司 / Tada Atsushi

農林水産総合技術支援センター水産研究課　主任研究員
平成29年度入庁

［所属歴］
●平成29年度：農林水産総合技術支援センター水産研究課

INTERVIEW 03

研究実績に漁業者の知識や経験を加えて何度も試行錯誤したのちに、新たな成果が得られる喜び

気候変動等の影響により、徳島県の漁業生産量・生産額は減少傾向が続いています。変化する漁場環境を正確に把握し、それに応じた適応戦略の推進が水産研究課の使命です。私が担当している養殖技術開発・藻場造成業務は、漁業収入の底上げを目標に、県南の高水温環境に適応した藻類養殖や、県南漁業にとって重要な藻場の維持・拡大について、技術開発と現場実装に取り組んでいます。私が提示した最新の研究実績に漁業者の知識や経験を加えて何度も試行錯誤したのちに新たな成果が得られることや、漁業者と一丸となって地域の課題解決を実践できることにやりがいを感じています。

乾　直志 / Inui Tadashi

農林水産基盤整備局生産基盤課　主事
平成30年度入庁

［所属歴］
●平成30年度：南部総合県民局農林水産部＜美波＞
●令和２年度：農林水産基盤整備局生産基盤課

INTERVIEW 04

漁港管理業務を通じて、徳島県の水産業の土台を支えていることを実感

漁港は、漁獲物の水揚げや漁船の係留、漁具の修理など、漁業の根拠地として日々漁業者の方々によって利用されており、水産物の安定供給の基盤という重要な機能を有しています。
私が担当している「漁港管理」という業務では、漁港を利用する方々がより安全かつ快適に漁港を利用できるよう、関係者の皆さんと協力しながら、老朽化した漁港施設の維持修繕や漁港を正しく利用していただくための調整などを行っています。適正な漁港管理に励んでいるなかで、漁港で漁業者の方々がのびのびと活動する姿を見たときに、徳島県の水産業の土台を支えているということをやりがいとして実感しています。

自然災害に強く、安全・安心で活気あふれる浜づくりの推進

水産職といえば、魚食普及や研究などの業務をイメージすると思いますが、漁業が営まれている漁港や漁場などを整備・管理することにも従事しています。生産基盤課では、土木職員と協力しながら、防波堤や岸壁、魚礁の整備・管理など、就労環境の改善や次世代に繋ぐ漁場づくりに取り組んでいます。また、本県においては、「南海トラフ巨大地震」などによる地震・津波被害に加え、近年大型化する台風などによる高潮・波浪被害に備えた防災・減災対策の推進に向け、施設の耐震化や長寿命化についても積極的に取り組んでおり、自然災害に強く、安全・安心で活力あふれる浜づくりを進めています。

▲ 係船柱の計測

農林水産基盤整備局生産基盤課

徳島県の水産職について教えて！

徳島県の「水産職」ならではの魅力は何ですか？

徳島県沿岸は、播磨灘、紀伊水道、太平洋と性質の異なる3つの海に面し、その特性に応じて、養殖業、定置網、底びき網、延縄、海士など様々な漁業が営まれていることから、水揚げされる水産物は、バラエティーに富んでいます。
3つの異なる海域において、各海域の特性を踏まえながら施策を立案し、事業を実施することは、もちろん難しさも伴いますが、徳島県で水産職として働く大きな魅力の一つです。

人事異動について教えてください。

水産振興施策等の企画立案や試験研究等の分野を概ね2、3年サイクルで異動します。
なお、人事異動については、必ずしも希望どおりになるとは限りませんが、異動先の希望を伝える機会を設けています。

徳島県の水産職について教えて！

給与について教えてください。

初任給は、月額188,700円（大学卒）です。職務内容によっては、給料月額の6%の額の「農林漁業普及指導手当」が毎月支給される場合があります。

研修体制や資格取得支援、研究発表等の取組みはありますか？

業務上必要とされる知識、技術の習得のため、国や各種団体等が開催する研修会等に参加することができます。
また、水産研究課では、研究成果を広く知っていただくため、毎年、漁業関係者に限らず、全ての県民の皆様を対象とした「研究成果発表会」を開催しています。

もっと「水産職」について知りたい！

徳島県職員採用ホームページでも、職務の内容や先輩職員の声を紹介しています！

水産職の業務に関する問合せ

徳島県農林水産部水産振興課
〒770-8570 徳島市万代町1丁目1番地 徳島県庁6階
TEL.088-621-2470 FAX.088-621-2863
✉ suisanshinkouka@pref.tokushima.jp

採用に関する情報・問合せ

徳島県職員採用ホームページ
https://www.pref.tokushima.lg.jp/saiyou/

徳島県経営戦略部人事課
〒770-8570 徳島市万代町1丁目1番地 徳島県庁3階
TEL.088-621-2358 FAX.088-621-2825
✉ jinjika@pref.tokushima.jp

※掲載内容は、令和4年1月現在のものです。